

（1）事業の目的

発生が懸念される東海地震や東南海の三連動地震などによる災害から県民の命を守るため、特定天井の耐震化を実施する。なお、当該公園は県の防災拠点として指定されている。

（2）指標：特定天井対策実施率

経営都市公園における特定天井対策実施率を100%にする。天井の耐震化により、地震発生時の利用者の安全を確保するとともに、地震発生後には袋井市の指定避難所として使用が可能となる。

指標の達成状況

当事業にて特定天井対策実施率が100%となったことにより、地震発生時の利用者の安全を確保することができた。

計画の成果目標	定量的指標			
	R2当初	R2末最終目標	R2末最終実績	R2末達成率
特定天井対策実施率	50.0% (1施設/2施設)	100.0% (2施設 / 2施設)	100% (2施設 / 2施設)	100.0%

[改修済み施設/既存不適格施設] (単位：施設)

（3）指標に関連する実施事例

静岡アリーナ特定天井改修工事

○ アリーナ面の改修



○ 改修のイメージ図

耐震天井
を新設

設備やダクト等を補強 プレース等の設置



軽量柔軟な
天井を新設

設備やダクト等を補強



（4）定量指標以外の効果発現状況

小笠山総合運動公園静岡アリーナは、袋井市の指定避難所となっており、災害時に避難する人の安全も確保された。

（5）今後の方針と目標達成見込み

公園利用者の目線にたち、安心・安全な施設整備を進めていく。